

# すみれ共同作業所 ニュース

第89号  
2022年4月30日

社会福祉法人  
大阪福祉事業財団  
すみれ共同作業所  
所長 藤原 民人  
〒五三六-0001  
大阪府城東区古市一-二-三三八  
電話(0)六六九-三四一四六〇七

## 事業内容

- ◆生活介護事業  
なかまの働く店  
「フレンドワーク」「うるるカフェ」
- ◆共同生活援助事業  
グループホーム  
「かえでの家」  
「わくわくホーム」  
「ぼぶら」「いぶき」「もえぎ」  
「すみれ青年の家」
- ◆「第2すみれ青年の家」
- ◆日中一時支援事業
- ◆居宅介護・重度訪問  
介護事業
- ◆移動支援事業
- ◆指定特定相談支援事業

## コロナウイルス 作業所の状況と制度の拡充に向けて

すみれ共同作業所 所長 藤原民人

今年の2月から3月にかけて、作業所全体で利用者20名、職員12名がコロナウイルスに感染しました。長引く流行期間に、何度か作業所を閉所することもありましたが、利用者・家族からの1日でも多くの登所を望む声に応じ、一部作業室を閉鎖するなどの対応を取り、可能な限り開所できるように努めてきたとともに、改めて福祉施設が果たす社会的な役割の重要性を実感したところです。

グループホームでは、7か所のうち3か所のホームでコロナの陽性者が発生しました。その内、365日を過ごす方が入居するホームでは、陽性となった利用者さんが部屋で安静にすることが出来ず、マスクも着用することが出来ないため、ホーム全体がレッドゾーンとなりました。

陽性者と陰性者が入り混じる中、支援者は感染拡大を防ぐこと、目の離せない利用者への対応と心身の状態把握など様々な対応に迫られました。自宅に帰らずホテルで過ごし、毎日ホームに泊まり込みをした職員もいました。日に日に疲弊していく職員が、それでも利用者のいのちと健康を守ることを最優先に、一時も気を抜くことをせず、自らも感染するかもしれないという不安の中で支援を続けてきました。また、病状の急変に救急車を要請するも入院に繋がらなかったケースも何度かありました。障害のあるなしに関わらず多くの方が入院困難となる状況ではありましたが、障害のある方はそれ以上に入院が困難で、ホテル療養さえも難しい状況がありました。

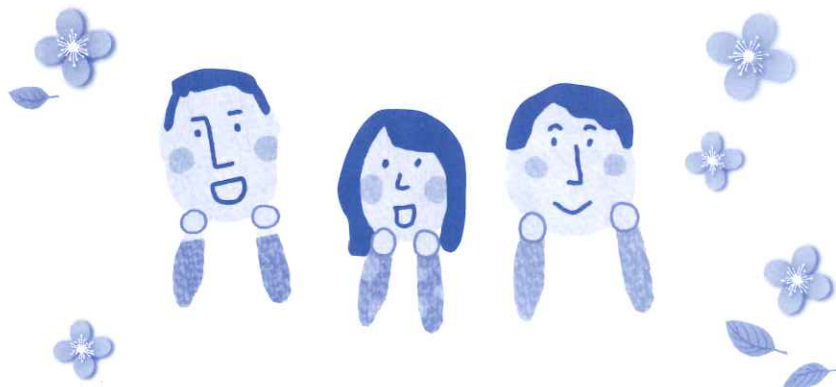
今回の第6波では、多くの障害者の事業所で同様の、またはそれ以上の厳しい状況が生まれました。新たな変異株の流行も懸念される中、1人でも多くの方に実態を知って頂き、障害者が安心して暮らせる制度の拡充に向け、皆さんとともに行動をしていきたいと思っております。

## 季香

この季節のこれまで障害を持った方々と移動支援事業(ガイドヘルパー)を利用して、梅や桃の花を見ながら季節感を堪能していましたが、コロナウイルス感染症対策で外出もできにくくなり、この2年間は四季をも目で楽しむことが激減しました。「若ごぼう、筍、春キャベツ、イチゴ…などなど」の旬の食材を味わうことは出来ても、利用者さんと一緒に春を感じながらの花見はまた格別なもので寂しく感じていました。最近では桜が淡いピンク色のつぼみを付け花も咲き始めてきています。まん延防止等重点措置が解除された今、この春の陽気を以前のよう

にみんなを感じられることが待ち遠しく思います。  
コロナが終息し、争いもなく、平和に暮らせる日々の訪れを願うばかりです。

(堀)



昨年は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止となった「春を呼ぶ、なかまの作品展」ですが、今年は3月23、24日に、うえるほろろ1階レクホールにて開催する事が出来ました。当初は2月に開催を予定していましたが、感染拡大を受け延期とし、感染が落ち着いた時期を見ての開催となりました。また、喫茶コーナーや自主製品の販売は感染防止の為に中止しましたが、そのような状況の中でしたが、みなさんの力作が揃った作品展となりました。



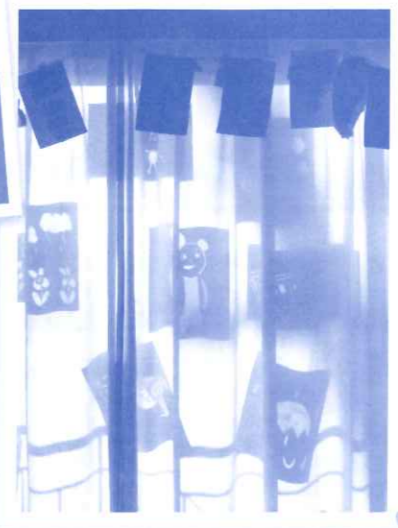
### 第1作業室

第1作業室は紙粘土で作った置物やペットボトルで作った風鈴、ピエロや雪だるまの人形をゆつくり時間を掛けて制作しました。



### 第2作業室

第2作業室のA班は手提げバッグに思い思いの絵を描いた作品を制作し、B班のみなさんは紙に絵を描き、その形を切り取って色とりどりのセロハンを貼り、窓に飾ることで日のひかりを受けてとても綺麗な色を見せるスタンドグラスを制作されました。



### 第3作業室

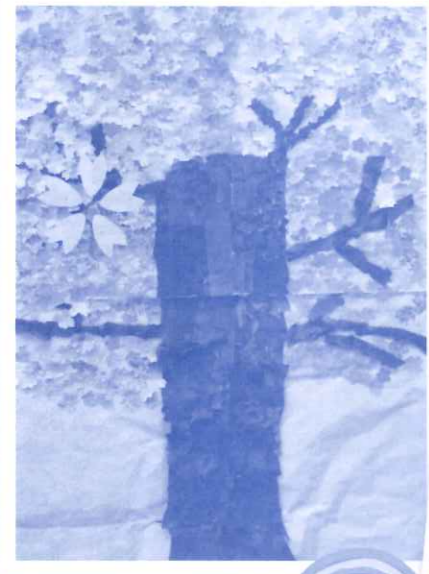
第3作業室はみんなで作ったドラゴンと、お正月に制作した花飾りを出展されました。



# 春を呼ぶ なかまの作品展

### フレンドワーク

フレンドワークのみなさんは、迫力満点の大きな桜のはり絵に、色とりどりのタイルを張りつけた写真フレームを作られていました。



### 就労チーム

就労チームは、ピンポン玉に顔を描いたおひなさまと、その周りには毛糸で作った照明を作り、あかりを灯すととても綺麗なひな飾りになっていました。また、初出の時に書いた書初めやリモートで開催したクリスマス会での各作業室の出し物の映像も映し出しました。



喫茶コーナーや自主製品の販売を中止するなど、例年とは違った形での「春を呼ぶ、なかまの作品展」となりましたが、開催初日に桜の開花宣言が出るなど、その名の通り春を呼ぶ催しとなりました。



# 第45次国会請願署名 ご協力のお礼

昨年の12月から取り組んで  
いたきょうされん第45次国会  
請願署名ですが、今年もコロ  
ナ禍での署名運動となり集め  
るのには苦労したかと思いま  
す。その中でもご協力いただ  
いたことに担当者一同心から  
お礼申し上げます。

今回は請願項目として①新  
型コロナウイルス感染終息まで  
の間、障害のある人と関係者への  
継続的な検査といのちを守る  
医療を確保するとともに、仕  
事の減少による工賃減額の補  
填②障害者総合支援法の見直  
し③福祉・介護などの深刻な人  
手不足を解消し、福祉に携わ  
る人が働き続けられる報酬を  
④優生保護法により生涯にわ  
たる傷を負った人たちの尊厳を  
起伏するために「時金支給法」  
の改正。以上の4つのことをあ

げました。いずれも決してでき  
ないことを要求しているわけ  
はありません。コロナ禍でなおも  
増加している軍事費のほんの一  
部でも回すことができれば十  
分に可能になります。また、こ  
うした運動を続けることによっ  
ていかに困っていることを伝える  
のが大事であると思います。今  
後ともきょうされんの活動にご  
理解を頂きましたご協力の方も  
よろしく願います。

(中谷)



## 1億円募金にご協力を頂き、 ありがとうございました。

2018年、城東福祉ゾー  
ン1次構想の中核であるすみ  
れ保育園および城東老人ホ  
ーム・すみれ病院複合施設の  
改築工事がスタートし、202  
0年3月に老人ホームとすみ  
れ保育園、2021年9月に  
すみれ病院が部分竣工しまし  
た。そして、2022年3月31  
日、外構も含めて建て替えが  
終了いたしました。その間、た  
くさんの方々にご支援と協力

を頂けたことに、心より感謝  
申し上げます。募金額は、  
9304万7107円となり、  
目標の93%まで達成しました  
ことをご報告いたします。  
引き続き安心して住み続け  
られる地域づくりに貢献して  
いきたいと思いますので、今後  
とも大阪福祉事業財団にご  
支援とご協力をよろしくお願い  
致します。

### ●大阪福祉事業財団後援会●

#### お申し込みは

年会費／個人 3,000円  
          団体 10,000円

郵便振込／  
大阪 00900-3-14013

すみれ共同作業所 又は  
大阪福祉事業財団  
後援会事務局 まで  
☎06-6931-2983

### 「福祉のひろば」 のご案内

ご購入を希望される  
方は、すみれ共同作業  
所までご連絡をお願い  
いたします。  
五五〇円(税込)

